

JVCシニアクラブ便り 2009年4月号 (No.21-3)

発行: JVC シニアクラブ
会長: 菅沼 喜久次

■ご挨拶

今年の桜は開花宣言の後、満開までにかなりの日数を要しましたが、春を迎えて、会員の皆様、お元気にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

昨年来からの厳しい経済環境の中で、3月には電機・自動車など大手企業を中心に労使間で賃金改定交渉が進められましたが、結果は軒並み「凍結・ゼロ回答」という厳しい結果で終わりました。ガソリンを始めとして諸物価高騰の嵐は落ち着いてきたとはいえ、働く人たちの生活は苦しいやりくりを強いられる事になります。



このような状況のもと、4月1日には多くの企業で新たに社会人となった人たちの入社式が執り行われ、その模様がテレビで紹介されていました。各人共に将来的な雇用不安を心の中に持ちながらも、新たな船出に向かって頑張っていこうとする決意をにじませていたようです。これから社会に雄飛しようとする若者たちの活躍に期待するところです。

私たちシニア世代も、より暮らし易い社会を目指して、共に力を合わせて行動していくことが大切でしょう。

■「春の懇親・交流と寄席を楽しむ会」が開催されました

3月8日(日)に「春の懇親・交流と寄席を楽しむ会」が開催されました。会場の国立演芸場は、落語、漫才、講談、奇術など大衆芸能全般を公演する所であり、日本の大衆芸能の担い手を育てる場所でもあります。

午後1時からの開演に先立って、12時45分から若い落語家の卵が前座を務めっていました。張のある声で一生懸命に語っている姿は頼もしいもので、将来はトリを演ずる真打へと成長していくことを期待するところです。

テレビで見ると違って直接ライブで観るのは、高座に居る人と観客との間に心通うものがあり、満員の観客席から大きな拍手が送られていました。



4時半から場所を「グランドアーク半蔵門」に移し、懇親会が開催されました。60名近い大勢の会員が集い、賑やかに懇談が続きました。

■トピックス：2009年問題を考える

先ずは「週刊ダイヤモンド編集部 2007年11月8日」の記事をご覧ください。

製造業の「2009年問題」が浮上している。電機・自動車などの製造現場を支えている「派遣」労働者の雇用期間が、2009年に一斉に3年を超える。メーカー側は「派遣」契約をいったん打ち切るか、直接雇用に切り替える（正社員化する）義務を負う。

メーカーが急激なコスト上昇を受け入れるとは考えにくく、労働力不足が発生するかもしれないのだ。国内製造業が機能不全に陥る危機だ。

昨年の9月までは、多くの人達がこのように考えていたに違いありません。

しかし事態は一変、急激な景気後退のために派遣労働者の契約打ち切りが社会問題となっています。多くの企業が生産規模を縮小したために、労働力が不足するどころか、逆に大量の失業者が巷にあふれるようになってしまいました。

多くの非正規労働者が、年度末の3月31日で契約修了となる可能性を見越して、国会では、雇用保険法改正案の審議が迅速に進められ、実施日を「4月1日から3月31日に繰り上げる」とことで与野党間の調整が付き法案は可決しました。

これにより年度末に失業した人たちの多くが、改正雇用保険法の適用対象となります。国として、更なるセフティネットの整備が急務だと思います。

WCでは、侍ジャパンが見事V2を成し遂げました。その経済効果は550億円ともいわれていますが、多くの国民に与えた感動と活力は更に大きな効果を生むでしょう。プロ野球ペナントレースでは、阪神タイガースが“カーネル・サンダースの呪い”から24年ぶりに解き放たれ、大躍進する2009年となるのでしょうか。



■事務局から

JVCシニアクラブの正式名称は「JAM・ビクター高齢者退職者会」です。JAMは、全国で機械金属産業を中心とする産業に働く38万人の仲間が結集する産別労働組合の団体で、日本ビクター労働組合はここに加盟しています。

現役を引退後、引き継ぎお互いに生活を守り、生きがいを求めていけるようにと、2001年にJAMがシニアクラブを発足させ、この趣旨を受けてJVCシニアクラブも2002年に発足しました。現在、JAMシニアクラブは全国で約6000名、JVCシニアクラブは221名の組織となっています。

財政的にみて、JVCシニアクラブは現役労働組合の皆様にお世話になっているのが現状です。私たちの財政的な自立に向けて一人でも多くの会員を仲間に迎えていかねばなりません。会員の皆様の積極的な働きかけで未加入の方に参加を呼びかけてください。「1人が1人、呼べば倍増」です。【編集・文責：田代周】

【追記】JAMの組織内議員 津田弥太郎参議院議員のブログサイトがあります。

ネットにアクセスできる方は次をご覧ください。<http://blog.yataro.jp/>

なお、JAM政策実現本部が運営する「やたろうチャンネル」には、JAMシニアクラブ幹事会のメンバーが参議院を訪問して、津田議員と面談した様子が載っています。こちらもご覧ください。<http://www.youtube.com/user/yatarochannel>